

からきだ匠カフェとは

多摩市山王下、中沢、唐木田、鶴牧には病院や施設などが多く、安心して暮らせることのできる環境が整っています。多くの医療や介護の専門家と地域の方々が日頃からつながるために、「多世代が集う居心地のいい場所を作ろう!!」

そんな思いで平成29年にスタートしたのが「からきだ匠カフェ～地域が繋がる場所～」です。

原則として毎月第4水曜日の午後2時～4時まで、小田急多摩線唐木田駅の近くにある「プラネットカフェ (Planet Cafe) ピザと文房具の店」で開催しています。

おとしよりから大学生・子どもまでを対象にし、テーマを決め、毎回その分野の「匠(たくみ)」の方のお話を聞いたり、参加者同士で交流したりしています。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合もあります。

PlanetCafe ピザと文房具の店
多摩市鶴牧 2-25-2
tel: 090-6648-8481

問い合わせ
多摩センター地域包括支援センター 042-376-2941



として初チャレンジしたのが、オンライン物しりとりです。言葉だけのしりとりではなく、自分の周りにある物を使って行うしりとりです。パソコンのカメラの前に「物」を映しながら、「〇〇」と物の名前を言い、次の人にバトンタッチします。

拠点の匠カフェが最初で、「マスク」を示すと、次の大学生は「口紅」と若い女性らしい品選びです。その次のあい老健は「ニッパ」、次の白楽荘デイは「編み物」とリレーが続きます。他の三会場から「わあっ」という歓声が一番あがったのが、自宅の強みを生かした大学生の品選びです。「トマト」「酢」「杖(おじいさんのもの)」など、自宅ならではの品物が次々に飛び出しました。実際の雰囲気は

下の二枚の写真で伝わるでしょうか。

初のハイブリッド匠カフェは、それぞれの会場で盛り上がり、楽しいという声が何度も聞かれ、新しいスタイルの可能性を知ることができました。

年末で一週間繰り上がった十二月十六日(水)の「匠カフェ」は、プラネットカフェ、あい介護老人保健施設デイケア、健幸つながる広場とよよんを結び、「カフェとオンラインで繋ぐクリスマス! みんなでゲームを楽しみましょう」をテーマに実施しました。

十一月と十二月の経験を土台に、ハイブリッド匠カフェをさらに進化させていこうと、企画担当のグループメンバーは、新しい年に決意を新たにしています。



白楽荘デイサービスのお題「トイレトペーパー」



年度が切り替わる春先。からきだ匠カフェの会場も、三年間お世話になったキッチンティスからプラネットカフェに変更になりました。新しい会場での活動をスタートしようとしていた時期が、ちょうど、新型コロナウイルス感染症拡大第一波の時期でした。緊急事態宣言もあり、半年強の期間、匠カフェは休止を余儀なくされました。

匠カフェの企画運営をしているあい介護老人保健施設、楽友会、大妻女子大学のスタッフは、休止期間中、定期的に打ち合わせを行い、再開の時期と開催手法を考えてきました。そして、いろいろな地域活動が徐々に再開されてきたことから、十月には、久しぶりに、プラネットカフェでの事業を再開しました。さらに、「密」を避けるために、「新しいスタイル」を取り入れることにしました。

十一月二十五日(水)、待ちに待った新しいスタイルハイブリッド匠カフェの開催です。オンライン会議システムZoomをつないだのは、拠点であるプラネットカフェ、楽友会の白楽荘デイサービスセンター、あい介護老人保健施設デイケア、大妻女子大学人間関係学部在籍する大学生の自宅の四か所

離れていても楽しく集う 多世代が交流する居心地のいい場所

最初は、何となく手探りでやりとりでしたが、すぐに慣れ、画面を見ながら、みんなで楽しめるゲームをしようという流れになりました。

四か所をつないで しりとり遊び

一人参加の大学生も、デイサービスのご利用者も、みんなが参加でき楽しめるゲームと



プラネットカフェで探し出したのは「アルコール」

